

平成 27 年度 横浜商科大学開学 50 周年記念公開講座 (通算第 32 回)

現代の課題：グローバル化とナショナリズム

ーヨーロッパおよび東アジアー

後援：横浜市教育委員会

【講座のご紹介】

「地球一体化（グローバル化）」によって、ヒト・モノ・カネ・情報が地域境界（フロンティア）を超えて行く。モノ・カネ・情報の移動はデータが残る。その分析からある道筋が明らかになる。ヒトの移動は文明と文明の衝突・邂逅を招き、新しい文明のフロンティアを形成する。その際には、「対等の他者」を意識する、他者の本質への関心が必要となる。個々の文明・文化に基づくナショナリズムが衝突する現状を、イデオロギーや理念のみからではなく、得られたデータ分析をからめて考えることができる。現代社会の課題である「グローバル化」もナショナリズム問題をからめることで新たな視点が提示されるだろう。

ヨーロッパはヨーロッパ連合（EU）を形成し、国家統合・国境を無くして 20 世紀前半までの国家間の対立・戦争を回避する努力をしてきた。しかし共通通貨ユーロ導入によって益々「統一」イメージが強まる一方で、経済不況から不協和音が喧しい。ヨーロッパの現況を「ヨーロッパ一体化」（グローバル化）とナショナリズム顕在化の視点から再考する。

2014 年 5 月ヨーロッパ議会選挙が行われ、フランスでは移民労働者反対の国民戦線が躍進し、ドイツでもナチスの後任を自認するドイツ国家民主党が初めて 1 議席を獲得した。また 2014 年 9 月スコットランド独立を問う住民投票では同地方がイギリスに留まることになったが、今後自治の度合いは増し、ウェールズなどにも影響が及ぶ。同様な火種はスペインのカタルーニャやバスクにもある。

日本・東アジアの現況においてもナショナリズムに端を発する国家間の軋轢が生じている。ヨーロッパでは「国家統合」などにより国家対立＝戦争を繰り返さない手段がとられてきたが、まだ十分ではない。日本・東アジアではどのような「知恵」が発想されるのか。

本年度の公開講座では、ナショナリズムを古くて新しいテーマとして注目し、グローバル化にからめて「現代の課題」として問うことにもなる。

各回先着 **200** 名

平成 **27** 年 **6** 月 **6** 日（土）
～ **7** 月 **11** 日（土）

- 毎週土曜日 全 6 回
- 午前 10 時～12 時
- 会場：横浜商科大学
つるみキャンパス 132 教室
- 対象：一般の方、本学学生
- 事前申し込み不要です。当日直接会場にお越しください。

受講料 無料

開学 50 周年を記念し、受講料を無料化しました！

開講日	講師	講義内容
① 6/6	渡部哲郎 本学教授	国家・「ネーション」とはなにか —かつての「グローバル国家」スペインと 今の「地方」カタルーニャ・バスク—
② 6/13	酒井明子 本学元教授	如何にしてナショナリズムと出会い、 如何にしてそれを捨て去ってきたか —ドイツ
③ 6/20	松下晴彦 本学講師	スコットランドの自治：独立住民投票から考える
④ 6/27	大石庄一 本学元教授	幕末維新期の日本と朝鮮
⑤ 7/4	権上康男 横浜国立大学名誉教授	統合ヨーロッパにおけるナショナリズムとグローバル化
⑥ 7/11	鶴見誠良 法政大学名誉教授	日本・東アジア「グローバル化」問題

※お好きな回のみ受講することも可能です。



- 生麦駅下車、徒歩約15分
- 大口駅下車、徒歩約20分
- 鶴見駅下車、西口バスターミナル3、4番より、
横浜駅西口行バス（市営38系統）、新横浜駅行、
または川向町行バス（市営41系統）で飯山バス停下車、
徒歩5分
- 横浜駅下車、横浜駅東口バスターミナル15番より、
川崎駅西口行バス（市営7系統）、鶴見駅行バス（市営29系統）
で岸谷バス停下車、徒歩5分
- 菊名駅下車、鶴見駅西口行バス（市営41系統）で
飯山バス停下車、徒歩5分

【お申し込み・お問い合わせ】

〒230-8577

横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

横浜商科大学公開講座係

（横浜商科大学図書館内）

TEL 045-583-9057

FAX 045-584-4870

E-mail:library@shodai.ac.jp

http://www.shodai.ac.jp